

佐々木弘綱 ひろしき ひろつね 國學者。文政十一年七月十六日得勢國生れ、明治

二十四年六月二十一日歿（八六一九）。幼名習之助、時綱、蒲籬重藏。

號竹柏園、那木園、鈴山、筆名サ、キ、佐々木竹柏、佐々木鈴山、柳

園弘綱、源弘綱、狭々城鈴山、狭々木竹柏、笠城竹柏、

笠木竹柏、漆城鈴山等。少時家學を受け、うち足代弘訓、井上支雄公

學ぶ。明治十五年東京大學文學部古典科講師。國文學者佐佐木信綱は

その長男。

編著書『類題千船集』二編』全二冊（輯、慶應四年七月京阪書堂丁宇屋源治

郎他十書肆）、『雅言小解』（明治十二年八月四日版權免許・重加藤

萬作出版）、『明治開化和歌集』全二冊（編、明治十二年七月山中井

兵衛出版）、『竹取物語俚言解』（明治十四年一月序・京出雲寺文文

郎他十書林發兌）、『詠歌自在・續頌』全二冊（明治十八年八月會典

出版会。再刊・十九年二月愛知・伊藤小文司翻刻出版）、『詠歌自在

・雜之部』全二冊（編、明治二十一年二月十五日愛知・環翠堂藏）、

『佐山日記』（明治二十一年四月二十日岐阜・漣園文庫藏梓）、『千

代田歌集・第壹編』（撰、明治二十二年一月十五日博文館「東洋文藝

叢書」）、『寶田集』全二冊（撰、明治二十四年二月東崖堂）、『枕

名遣詞字典』（岡野伊半合著、明治二十四年四月十七日博文館）、『足

代弘訓翁文集』（撰、佐々木信綱校、明治二十四年五月二十七日博文

館）、『歌詞遠鏡』全三冊（明治二十五年六月九日笠巻書肆）、『詠

歌辭典』（編、佐々木信綱補、明治三十年八月六日博文館）、『和世々

のあし』（選、信綱校、明治四十一年八月十二日博文館）、『鈴山年

譜』（印東喜綱編、大正九年八月二十七日竹柏會）、『口譯上佐山日記』

(佐佐木弘綱名、佐佐木信綱補、昭和十二年十一月十五自京都・人文書院「口譯國文叢書」)、  
 「口譯待勢物語」(同、同、昭和十五年九月五日京都・人文書院「口譯國文叢書」)等。

